

九州医療センター たより

55 January
2026



基本 理念

病む人に寄り添い、安全かつ最適な医療を提供します

厚生労働省が発表した統計によりますと、令和5年度の国民医療費は48兆915億円で対GDP比率8.08%、図1に示しますように増加の一途をたっています。国民1人当りの医療費で見ますと38万6,700円で前年度比3.5%の増加です。このように膨らみ続ける医療費の背景には、超高齢化の進展と同時に、医療技術の高度化と高額医薬品の開発があるわけですが、現役世代の保険料負担とのバランスに配慮しつつ、持続可能な医療保険制度とするための改革が議論されています。

そのひとつに高額療養費制度があります。誰もが安心して高度医療を受けられる日本独自のセーフティネット機能として、がんや難病の治療を続けておられる患者さんのほとんどがこの制度を利用しておられるはずです。昨年来、この素晴らしい制度の見直しが議論されていることは報道などでご存じだと思いますが、患者団体等当事者も加わった「高額療養費制度の在り方に関する専門委員会」における計8回の議論を経て、このほど制度の見直しに関する基本的な考え方がまとめられました



病院長
岩崎 浩己

高額療養費制度の見直しに関する 基本的な考え方が示されました

た。以下、重要なポイントを抜粋してご紹介します。

1 現行制度の所得区分では、年収約370万円の方と年収約770万円の方に同じ限度額が適用されます。また、所得区分が1段階変更となるだけで限度額が2倍程度に増加するなど、あまりにも大括りな制度となっていました。所得区分を細分化（住民税非課税区分を除く各所得区分を例えば3区分に細分化）することで、所得区分の変更に応じて限度額ができる限り緩やかに増減するような制度設計を目指すようです。

2 70歳以上の高齢者のみに設けられている外来特例については、現役世代の保険料負担軽減に配慮した応負担の観点から、月額上限・年額上限を上げる方向のようです。また、健康寿命が延伸していることを踏まえて、対象年齢の引き上げも視野に入れた見直しが行われるようです。

3 特に療養期間が長期にわたる患者さんにとってなくてはならない高額療養費制度です。で、月々の限度額に該当しなくなった場合にも制度の恩恵を受けられるよう、新たに患者負担に「年間上限」を設ける方向で検討されるようです。

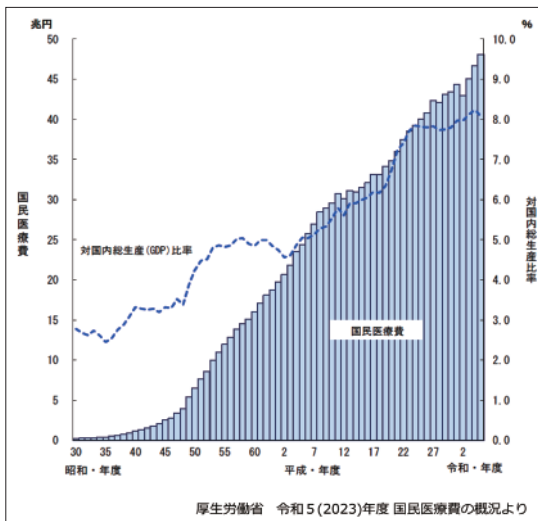


図1 国民医療費・対国内総生産比率の年次推移

4 予てより要望の多かった変更点として、加入する保険者が変わる際にも多数回該当のカウントが引き継がれる仕組みを実現する方向で進めるようです。

5 具体的な金額（限度額）などについては、医療保険制度改革全体の議論を踏まえて設定することとなりますが、特に低所得層に十分配慮した制度設計とすることが示されています。施行は令和8年夏以降になるようです。

このように、患者さんとご家族にできる限り寄り添った形で高額療養費制度が堅持されることに、私たち医療者もたいへん喜ばしく思います。当院では外来棟1階ATM前に医療相談コーナーを設けています。どうぞお気軽にご相談ください。

早期認知外来 (MCI)の紹介

脳血管センター
脳血管・神経内科
科長 杉森 宏

認知機能（頭の働き）が加齢とともに低下することは避けられませんが、日常生活や社会生活に支障が出る状態である認知症に至るまでに認知機能低下はあるものの病的な認知症とは言えない状態を経過することがほとんどです。この中間的な状態をMild cognitive impairment（軽度認知障害（MCI））と呼びます。この段階で対応することにより認知症への進行を抑制できたり、あるいは予防できたりすることが示されていますので、早期に見つけることは重要です。近年、認知症悪化を抑制するお薬の発売によって認知症に対する関心がとみに高まっていますが、当院では2013年には早くも早期認知（MCI）外来と銘打って専門外来を設けています。具体的には週に2回、かかりつけ医の紹介で1日一人の患者さんだけ受け付けていて、私が問診と診察を行い、臨床心理士が高次脳機能を精査し、後日MRIや脳血流シンチなどの画像診断や血液検査で認知機能に影響するような疾患を検索する、といった流れになっています。

診療の中で最も優先することは治療可能性のある疾患を見つけることです。たとえば正常圧水頭症と言って頭蓋内に水が溜まる病気や、硬膜下血種といった血が溜まってしまいう病気がありますが、これらは比較的簡単な手術で改善が期待できます。また甲状腺ホルモンというホルモンが不足している人は元気がなくて見かけ上認知症に見えますが、ホルモンを補充してあげれば元気になります。また気分が落ち込むうつ病のひどい人は傍目には認知症にしか見えません。そしてかなり重要な原因としてお薬の副作用が挙げられます。最近は医療が細分化されて、複数の医療機関にかかるそれぞれが処方しているお薬の把握は難しく、医療者も無頓着になりがちです。意外な薬が原因のこともありますので、どこからどんな薬を出されて飲んでいるかを把握することは重要ですが、よく聞かないと教えてくれなかったりすることが多いのです。

ただ、残念ながらこういった治療可能な病気が見つかることは少なく、多くはアルツハイマー型認知症といって次第に進行していく認知症です。そういうわけで次に大事にしていることは患者さんの生活状況を含めてよく話を聞くことです。先にも述べたように認知症というのは生活に何らかの支障が出るものを指します。その前の段階で物忘れがあったところやだだちに認知症というわけではありません。世の中MRIを撮れば認知症かどうか分かる、とばかりに画像検査だ

け行つて行くに話も聞かずに認知症と診断し薬を出している向きもあることを承知しています。一度など認知症を疑われて紹介された方の話を聞いていたら、最近子供に先立たれて気持ちが沈んでどうしようもない、と仰つてびっくりしたことがあります。医学書に子をつけた親の気持ち、などというものは書いていませんが、そこに意識が至らないのか聞く時間がなかったかなのでしよう。半年後には別人のようにしつかりしておられて認知機能低下を微塵も感じさせませんでした。家族の慶弔くらいは聞いてあげられるお医者さんでいたいものです。

それはさておき、MCI外来ではそれまでの生活そして現在の日常生活における人間関係や困りごと、ご本人やご家族の希望などを十分に聞くことで初めて対応する方針が固まってくるのです。実際のところ、単なる思い過ごしレベルから重度で満足できる解決がないレベルまで来られる患者さんも様々です。当然ながら大変時間がかかります。ただ、本当に認知症と診断されると別表にあるようなことはできなくなります。恐ろしいことに遺言書すら無効になります。得ますからある意味社会的には死んだ状態です。そうなる前に余裕をもって準備をするきっかけとして受診してもらおうと良いかな、と思つています。かかりつけ医の先生とよく相談してお出でになってください。

認知症を発症し、 “意思判断能力が喪失”した状態 になるとできなくなること



金融機関での取引 → 融資、引き出し、振り込み、定期口座契約／解約など

不動産取引 → 売却、購入、貸す、借りる、土地測量、建替え、改修工事

生命保険 → 契約締結、解約、変更など

贈与 → 現金、住宅や教育などの資金贈与など

金融商品取引 → 株や債券などの取引など

相続関連 → 遺言を書く／修正、信託など

居住関係 → 住民票の移動など

携帯電話・サブスクリプション → 新規契約、解約など

運転免許 → 取得、更新など



ももろうコーナーができました！

企画課 外来係長 金井田 幸寛

当院では「ももろう」というキャラクターを公式採用しています。昨年度に開院30周年を迎えた当院ですが、これからも「地域の皆さまに寄り添い、職員にも寄り添う医療機関でありたい」という思いも込めてイメージキャラクターとして作成されたものです。誕生までには職員から全39作品の応募があり、その中からすべての職員による投票を行った結果、公式キャラクターとなりました。

この「ももろう」ですが、公式採用後は職員が作成するプレゼンテーション資料や掲示物などに多く登場し、桃色の丸い、まるまるとしたフォルムから感じられる、あの柔らかい雰囲気、場を和ませてくれます。私自身も、この「ももろう」が大好きで、患者様への説明文書などの資料やポスターにも「ももろう」のイラストを添付することが多いのですが、資料のワンポイントに登場させるだけで不思議と文書全体に温かみが増します。患者様の中にもファンが多くいらつしやるようで、患者様とお話している際にも「このキャラクターって、名前はなんというの？」と問合せを受けることや、「なんか可愛くてほっとする。」「どうして「ももろう」になったの？」「これって雄なの？それとも雌なの？笑」そういったご質問を頂くこともあります。その都度、「ももろう」の誕生秘話についてお話すると、より当院に興味を持っていただくこともあり、施設のキャラクターが患者様とのつながりを感じることきっかけとなることを日々実感しております。とくに職員が応募した40近いキャラクターの中から実際に投票を行って採用されたエピソードについては、興味を持たれることが多いです。

そういった経緯もあり、当院としては「ももろう」をより浸透させたい気持ちから、昨年10月に「ももろうコーナー」を設置しました。これまでとは違い、連なつてポスターが掲示されていることや、枠が

もあり、患者様や職員の方が時折立ち止まって眺められている姿を拝見いたします。現在掲示してあるものは、「ももろう誕生秘話」に関する内容ですが、今後は定期的に内容を更新したいと思っております。他にも「ももろう塗り絵」などを希望される方に配布し、展示することや、既に来客向けカウンターなどに設置されている「ももろうぬいぐるみ」など、当院で作成した「ももろうグッズ」を当コーナーに一部設置することなども考えております。

また、当院にはInstagramの公式アカウントがございます。患者様が普段目にすることはない、「職員の業務密着シリーズ」や「外部との合同訓練内容」「部門紹介」などを日々公開しており、閲覧数やフォロー数もどんどん増えています。そちらの内容を一部ポスターとして掲示することも考えております。（公式InstagramのQRコードはページ下部にあります。アカウントをお持ちの方は是非一度覗いてみてください！）現状はまだ充実しきれていない「ももろうコーナー」ですが、「ももろう」を通して患者様が当院に親しみやすさを感じていただけるよう、取り組んで参りたいと思っております。今後どうぞよろしく願いたします。



当院の公式Instagramページはコチラです！



1階のエスカレーター横にあります。



階	診療科名		月	火	水	木	金
1階	総合診療科		岸原 康浩 新患 居原 毅	岸原 康浩 新患 居原 毅 新患	岸原 康浩 新患 居原 毅	岸原 康浩 新患	岸原 康浩 新患 居原 毅 新患
	代謝内分泌内科		渡邊 哲博 堀内 由布子 新患	阿部 隼希 新患 坂本 昌平	渡邊 哲博 新患 坂本 昌平	堀内 由布子 新患 阿部 隼希	坂本 昌平 新患
	膠原病内科		石田 素子 新患 高濱 宗一郎	増田 徹 新患 宮村 知也	中村 真隆 吉玉 健人 新患	田中 孝典 新患 石田 素子	増田 徹 南 留美 中村 真隆 新患
	血液内科		吉田 周郎 / 岩崎 浩己 中尾 文彦 新患	高瀬 謙 門脇 賢典 新患	中尾 文彦 高嶋 秀一郎 新患	門脇 賢典 吉田 周郎 新患	高嶋 秀一郎 高瀬 謙 新患
	移植後フォローアップ外来			担当医師			
	消化器内科	肝	國府島 庸之 / 堀内 敦史 中牟田 誠	上田 哲弘 福泉 公仁隆	國府島 庸之 / 堀内 敦史 中牟田 誠	上田 哲弘 福泉 公仁隆	國府島 庸之 中嶋 厚依 新患
		膵 胆	高松 悠	加来 豊馬	麻生 皆人	高松 悠	加来 豊馬
		消化管	吉村 大輔	大久保 彰人	梅北 慎也	吉村 大輔	深浦 啓太
	呼吸器内科		松尾 規和 新患 岡元 昌樹	田中 智大 新患 南野 高志	岡元 昌樹 新患 武岡 宏明	南野 高志 新患 西田 佳子	武岡 宏明 新患 松尾 規和
	腎臓・高血圧内科	腎臓	中山 勝 春山 直樹		中山 勝 福井 明子 ※8 大田 修 ※8	春山 直樹	
		高血圧	担当医師 新患	富永 光裕	富永 光裕 新患 担当医師 再診	富永 光裕	担当医師
	循環器内科		村里 嘉信 大谷 規彰 目野 恭平	井上 修二郎 ★新患 高瀬 進 ★ 岡部 浩祐 ★	森 隆宏 高橋 甚彌	村里 嘉信 大谷 規彰	井上 修二郎 ★ 真崎 耕平 ★ 小村 聡一郎
	★不整脈担当						
	ペースメーカー I.C.D 外来						荒木 将裕 ★
	弁膜症外来（午後再来のみ）		浦 祐次郎 / 大谷 規彰				
	心臓血管外科		手術日	手術日	神尾 明君 / 米倉 隆介 松尾 彰信	手術日	神尾 明君 ※6 米倉 隆介 ※6 松尾 彰信 ※6
	血管外科		手術日 ※12	古山 正	手術日	松原 裕 古山 正	岩佐 憲臣
	脳血管・神経内科		杉森 宏 中西 泰之	杉森 宏 木村 俊介	桑城 貴弘 芝原 友也	芝原 友也 杉森 宏	桑城 貴弘 中西 泰之
	頭痛外来				桑城 貴弘 午後		
	早期認知外来（MCI 外来）			杉森 宏		杉森 宏	
	脳血管内治療科			徳永 聡 午後	徳永 聡 午後		徳永 聡
	脳神経外科		手術日	溝口 昌弘 / 西村 中 雨宮 健生	手術日	溝口 昌弘 / 西村 中 雨宮 健生 午後	溝口 昌弘 ※5
	放射線治療科 ※10		大賀 才路	大賀 才路	大賀 才路 午前	大賀 才路 午前	
	放射線診断科 ※11		小倉 琢嗣	西村 俊輔 午前			菊野 亮栄
	整形外科・リウマチ科		福士 純一 / ★小原 伸夫 櫻庭 康司 ★戸次 大史 新患 木村 敦 新患 緒方 亜紀 / 諸岡 郁	手術日	福士 純一 / ★小原 伸夫 櫻庭 康司 新患 (第1,3,5) ★戸次 大史 新患 田丸 哲弥 緒方 亜紀 新患 (第2,4) 木村 太一 / 稲富 健	手術日	★小原 伸夫 新患 ★戸次 大史 木村 敦 田丸 哲弥 新患 徳永 修 山手 智志
	★脊椎担当						
	がん口コモ外来		戸次 大史		戸次 大史		戸次 大史
	外 科	肝胆膵	手術日	播本 憲史 / 橋本 和晃 野村 頼子 / 武石 一樹	手術日	手術日	播本 憲史 / 武石 一樹 橋本 和晃
		CVポート	手術日	当番医師 (午前)	手術日	手術日	
		消化管	手術日	池尻 公二 / 坂口 善久 太田 光彦 / 楠元 英次 中西 良太 / 田尻 裕匡 蓮田 博文	楠本 哲也 手術日	池尻 公二 / 坂口 善久 太田 光彦 / 楠元 英次 中西 良太 / 田尻 裕匡 蓮田 博文	手術日
	呼吸器外科		手術日	山崎 宏司 初再診 田川 哲三 再診 三浦 奈央子 (※13) 再診	手術日	田川 哲三 初再診 波呂 祥 再診	山崎 宏司 初再診 三浦 奈央子 再診 波呂 祥 再診
	歯科口腔外科		沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	当番医師
2階	産科・婦人科		当番医師 新患 蓮尾 泰之 再診	瓦林 (午前) / 江崎 (午後) 新患 小川 伸二 / 梶之浦 佳奈 森田 葵	藤原 ありさ 新患 大数 友里恵 / 瓦林 靖広 当番医師	小川 伸二 新患 藤原 (午前) / 森下 (午後) 早瀬 千尋 / 黒川 裕介	蓮尾 泰之 新患 当番医師 再診
	眼 科		長谷川 英一 / 芳賀 聡 神川 文音 / 山川 良太	手術日	長谷川 英一 / 芳賀 聡 神川 文音 / 山川 良太	手術日	長谷川 英一 / 芳賀 聡 神川 文音 / 山川 良太
		未熟児（予約のみ）			当番医師 午後		
	耳鼻咽喉科		中島 寅彦 / 瓜生 英興 久我 亮介 / 本多 雄飛	瓜生 英興 / 篠村 夏織 毛利 陽介	久我 亮介 毛利 陽介	中島 寅彦 / 瓜生 英興 久我 亮介	本多 雄飛 篠村 夏織
	形成外科		森久 陽一郎 新患 新垣 匠	手術日	森久 陽一郎 新患 新垣 匠	森久 陽一郎 新患 新垣 匠	手術日
	◎水曜日・木曜日の診察は、午前のみ						
	女性外来 （乳腺外科）		岩熊 伸高 / 岡部 実奈 樋脇 遼 当番医師 (※4) 新患	岩熊 伸高 岡部 実奈 樋脇 遼	手術日	岩熊 伸高 / 岡部 実奈 樋脇 遼 当番医師 (※4) 新患	手術日
	泌尿器科		吉川 正博 / 波止 亮 中野 康弘	手術日	平井 良樹 / 吉川 正博 三好 邦和	手術日	平井 良樹 / 三好 邦和 波止 亮
	小児科 ※7		井形 優平 新患 松下 悠紀	神野 俊介 新患 慶田 裕美 / 佐藤 和夫	神野 俊介 新患 花木 由香	井形 優平 新患 松下 悠紀 / 佐藤 和夫	神野 俊介 新患 慶田 裕美
	小児外科			甲斐 裕樹	手術日（第2・第4）	甲斐 裕樹	手術日（第2・第4）
	皮膚科・アレルギー科		幸田 太 / 黄 相允 王 黎亜 / 西村 美紅	手術日	幸田 太 / 黄 相允 王 黎亜 / 西村 美紅	手術日	幸田 太 / 黄 相允 王 黎亜 / 西村 美紅
	精神・神経科		石川 謙介 / 田中 裕記	田中 裕記	石川 謙介	田中 裕記	石川 謙介
	緩和ケア外来 ◎完全予約制 ※1		原田 卓哉	原田 卓哉	原田 卓哉	原田 卓哉	原田 卓哉
	腫瘍内科 ※2		田村 真吾 初再診 瀧川 彩 再診	田口 綾祐 初再診 西依 慧 再診	田村 真吾 再診 田口 綾祐 初再診	田村 真吾 再診 田口 綾祐 初再診	瀧川 彩 初再診 田口 綾祐 再診
	免疫感染症内科 ※3		中嶋 恵理子 当番医師 ※9	南 留美 当番医師 ※9	南 留美 高濱 宗一郎 当番医師 ※9	高濱 宗一郎 午前 中嶋 恵理子 午後 当番医師 ※9	中嶋 恵理子 午前 高濱 宗一郎 当番医師 ※9

★受付時間は、8時15分から10時30分までですが、紹介状をお持ちの場合は11時30分までとなっております。（令和8年1月1日現在）

★診療時間は、8時30分から17時15分までとなっております。

★休診は、土日祝日、年末年始においては12月29日から翌年1月3日となっております（但し急患はこの限りではありません。）

★当院は地域医療支援病院として地域の医院等と連携して治療を行っています。出来るだけ他院からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

紹介状をお持ちでない場合、別途費用をご負担いただくことになりますので、予めご了承下さい。

また、紹介状をお持ちでない場合、直接ご希望の診療科に受診が出来ません。総合診療科を受診してから専門診療科受診となります。この場合、専門診療科受診は後日等になる場合があります。

★手術日の外来診察は、原則、急患以外は診察できません（一部例外を除く）ので、予めご了承下さい。

（※1）緩和ケア外来は、完全予約制となっておりますので、事前に地域医療連携室での予約が必要です。

（※2）腫瘍内科への初診新患は、原則、午後1時からの受付となります。

（※3）免疫感染症科は、特定の感染症のみ対応します。また、水・金曜日は午前と午後の担当医が変わります。ご紹介の際は、事前連絡にて、ご確認ください。

（※4）乳腺外科の新患受付は、月曜日・木曜日の午前11時からとなります。また、診療開始は午後からです。

（※5）脳神経外科：金曜日は手術日となる場合がありますので、当日朝に電話で受診可能かを確認下さい。

（※6）心臓血管外科：金曜日の外来診療は、第1金曜日、第3金曜日、第5金曜日となります。

（※7）小児科のフォローアップ外来は、事前に地域医療連携室での予約が必要です。

（※8）腎臓・高血圧内科（腎臓）：水曜日、大田医師は第13週目、福井医師は第24週目が担当となります。

（※9）当番医師は消化器内科他、症状等により診察室を移動することがあります。

（※10）放射線診療科外来は【完全予約制】です。事前に地域医療連携室を介した予約が必要です。

（※11）放射線診断科外来は【完全予約制】です。事前に地域医療連携室を介した予約が必要です。IVRは院内の診療科からの紹介のみ対応し、他院から当科への直接の紹介はお受けしていません。

（※12）血管外科：第1月曜日、第3月曜日、第5月曜日は外来診療を行っております。（担当：岩佐医師、松原医師）

（※13）火曜日について三浦医師は12：00より外来診療を行っております。